

COVID-19 拡大が日本の消化器外科診療に与えた影響に関する研究 (研究名：COVID-19 拡大が日本の消化器外科診療に与えたインパクト)

1. 研究の対象

2015年1月～2020年12月に当院で膵頭十二指腸切除、食道悪性腫瘍切除術(消化管再建を伴う)、結腸悪性腫瘍切除(右半結腸切除)、低位前方切除、幽門側胃切除、胃全摘、肝切除術、腹膜炎手術、胆のう摘出術、鼠経ヘルニア根治術を受けた18歳以上の方

2. 研究目的・方法

本研究では National Clinical Database (NCD) のデータを用いて、消化器外科手術数の減少率を中心に、COVID-19 の影響と対応の実態を体系的に把握することが本研究の目的です。COVID-19 の第一波とその収束を中心として、2020年の外科診療にどのような変化が起こったのかを明らかにすることによって、将来においても起こり得る新興感染症に対する「より良い対応」にむけた考察ができると期待しています。

対象は、2015年1月～2020年12月に当院で膵頭十二指腸切除、食道悪性腫瘍切除術(消化管再建を伴う)、結腸悪性腫瘍切除(右半結腸切除)、低位前方切除、幽門側胃切除、胃全摘、肝切除術、腹膜炎手術、胆のう摘出術、鼠経ヘルニア根治術を受けた18歳以上の方を対象としています。研究期間は倫理申請の承認を受けてから2024年5月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

一般社団法人 National Clinical Database (NCD) 疾患登録情報 等

4. 外部への試料・情報の提供

すべてのデータはNCDが管理、解析を行います。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

5. 研究組織

研究代表

高知大学医学部外科学講座外科	花崎 和弘
高知大学医学部外科学講座外科	前田 広道
高知大学医学部外科学講座外科	宗景匡哉
東京大学大学院医学系研究科	瀬戸 泰之
和歌山県立医科大学	山上 裕機
東京女子医科大学医学部医学科	山本 雅一

岐阜大学大学院腫瘍制御学講座

吉田 和弘

北海道大学大学院医学院 外科学講座

武富 紹信

九州大学大学院 消化器・総合外科

森 正樹

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部外科学講座外科 花崎和弘

電話：088-8802370

研究責任者：高知大学医学部外科学講座外科 花崎和弘

研究代表者：上記